

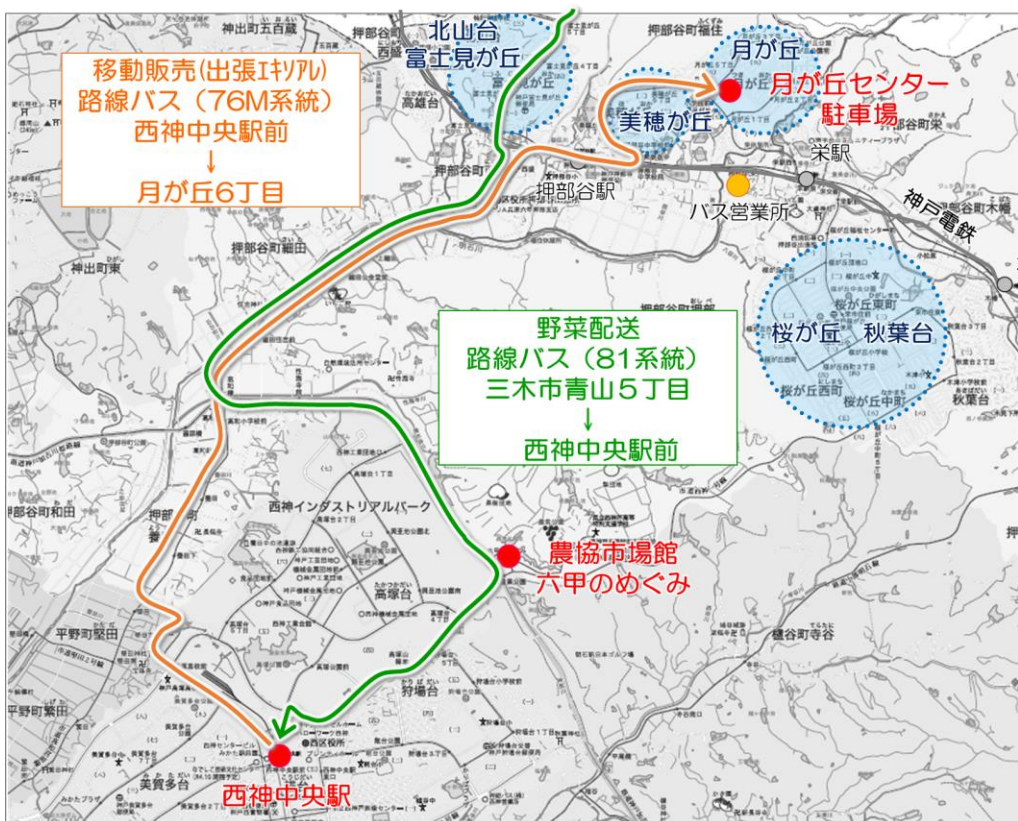
既存のバス路線を活用した貨客混載プロジェクト

■背景・目的

人口減少、少子・高齢化の進行などにより、郊外を走る路線バスの輸送需要が減少しています。また、郊外に開発されたニュータウンでは、身近な生活利便施設の衰退、地縁的つながりの希薄化による地域コミュニティの衰退等が懸念されています。

この取り組みは、路線バスが地域の足として重要な役割を担い続けていくため、モノの運搬による新たな収入源を得ることでの路線の維持、また、地域にとって必要な生活サービスの充実並びに地域コミュニティの活性化を目的としています。

■事業の場所（神戸市西区押部谷地域）



■事業の内容

